

第6章 地域資源の維持編

1 現状と課題認識

農地や農業用水利施設、森林などの地域資源の維持・保全が困難

(1) 農地・農業用水利施設等の地域資源の維持

- 人口減少や高齢化の進行等により、集落機能が低下し、農村コミュニティが失われつつあります。
- 特に過疎化の著しい中山間地域等では、地域資源の保管理上の問題が深刻化しています。
- 農業用水利施設等の老朽化が進んでおり、適時適切な補修や維持管理による機能保全が必要となっています。

(2) 鳥獣被害防止対策

- 集落での「環境改善」、「侵入防止」、「捕獲」による総合的な取組が広く波及・定着していないため、鳥獣被害金額が依然として高止まりの状況となっています。

(3) 多様な森林の整備と保全

- 小規模零細な所有者や境界が不明な森林が多く、合意形成に時間を要し、効率的な森林の施業と適切な森林の保護を行うための森林経営計画の策定が進まない地域があります。
- 依然として整備が必要な人工林や里山林が多く存在しており、またナラ枯れ被害など森林病虫害被害は終息しておらず、公益的機能の低下が懸念される森林を整備・保全する必要があります。
- 県民参加の森づくりを一層推進していくためには、主体的・継続的な森林保全活動を活発化させる必要があります。

2 取り巻く環境

(1) 農地・農業用水利施設等の地域資源の維持

○ 日本型直接支払制度の創設及び法制化(平成26年度～)

- ・ 地域政策として、集落コミュニティによる共同活動により、農地の維持や将来にわたって農業・農村の持つ多面的機能が発揮されることを目的とした日本型直接支払制度が創設、平成26年6月には法制化されました。「農業が有する多面的機能の発揮の促進に関する法律(平成26年6月20日公布)」

(2) 鳥獣被害防止対策

○ 鳥獣保護法の一部改正(平成26年度～)

- ・ 法の目的に鳥獣の管理が加わり、鳥獣の「保護」及び「管理」の定義が規定され、法の題名も「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改められました。

(3) 多様な森林の整備と保全

○ ひろしまの森づくり事業の延長(平成24年度～28年度)

- ・ 事業評価委員会による事業成果の検証等を踏まえ、ひろしまの森づくり事業の期間を5年間(H24～H28)延長しました。

3 取組の考え方

1) 農業分野(地域ぐるみの共同活動による資源の保全)

(1) 農地・農業用水利施設等の地域資源の維持

- 日本型直接支払制度などにより集落単位での共同の農業生産活動を支援し、農地の効率的な利用と保全を図り、集落機能の低下を防ぐことにより農村コミュニティの維持を推進します。
- また、これらの農業生産活動を支援することにより、地域資源である農地・農業用水利施設等が維持され、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に発揮されるとともに、次世代を担う意欲のある農業者へ農地が継承されるよう取り組みます。

(2) 耕作放棄地の活用

- 優良農地の中に散在する耕作放棄地や将来耕作放棄地となる恐れのある農地に対しては、地域資源として集落全体での優良農地と一体的な活用を支援します。

(3) 鳥獣被害対策

- 農村集落の大きな問題の一つであるイノシシ等の鳥獣による農作物の被害を軽減するために、餌付けを防ぐための「環境改善」、効果的な柵の設置と管理を行う「侵入防止」、わな猟等の「捕獲」を総合的に取り組む集落を支援します。
- また、こうした取組を広く波及・定着させるために、指導者を含む推進体制を強化します。
- 被害額の多いかんきつ等については、各地域で行われる栽培講習会などの機会を活用して、生産者に対し鳥獣害対策に関する啓発活動を実施し、鳥獣被害金額の一層の低減を図ります。
- 近年、生息エリアが拡大しているシカについては、関係機関と連携して対策を検討します。
- カワウについては、関係機関と協議し、広域的な被害防止対策について検討します。



資料：農林水産省HP

2) 森林分野(多様な森林の整備と保全)

(1) 森林経営計画に基づく人工林の適正な管理

- 森林経営計画の作成を支援するとともに、計画に基づく間伐を実施し、人工林の適正な管理を推進します。

(2) 公益的機能の低下が懸念される森林の整備

- 手入れ不足の人工林や放置された里山林の整備、森林病虫害等の被害防止対策を実施し、森林の有する公益的機能の維持発揮を図ります。

(3) 地域住民等による自主的・継続的な森林保全活動の推進

- 地域資源保全活用プランに基づく多様な主体による森林保全活動を県内各地へ拡大させ、県民参加の森づくりを推進します。



4 目標数値（現状(H25)→H29(目標)→H32(目標)）

【農業分野】

| 項目 | H25 | H29 | H32 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 日本型直接支払制度(ha) | 25,363 | 36,770 | 43,600 |
| 中山間地域等直接支払(ha) | 21,709 | 23,430 | 24,000 |
| 多面的機能支払(ha) | 9,104 | 36,770 | 43,600 |
| 土地改良施設定期診断(箇所) | 262 | 560 | 800 |
| 鳥獣による農作物被害金額(百万円) | 477 | 394 | 350 |

【森林分野】

| 項目 | H25 | H29 | H32 |
|------------------------|--------|--------|--------|
| 森林経営計画作成面積(ha) | 7,069 | 36,000 | 60,000 |
| 地域資源保全活用プラン実施箇所数累計(箇所) | 11 | 35 | 50 |
| 低コスト林業団地の除間伐面積累計(ha) | 7,373 | 25,000 | 36,000 |
| 手入れ不足の人工林の間伐面積累計(ha) | 3,438 | 7,000 | 10,000 |
| 森林ボランティア活動延べ人数(人) | 65,622 | 74,000 | 80,000 |
| 企業による森林保全活動実施件数(件) | 48 | 58 | 70 |

ひろしまの森づくりキャラクター「モーリー」

